飛鳥観光案内サイン整備計画

~飛鳥地方における広域観光の周遊支援に向けて~ (概要版)

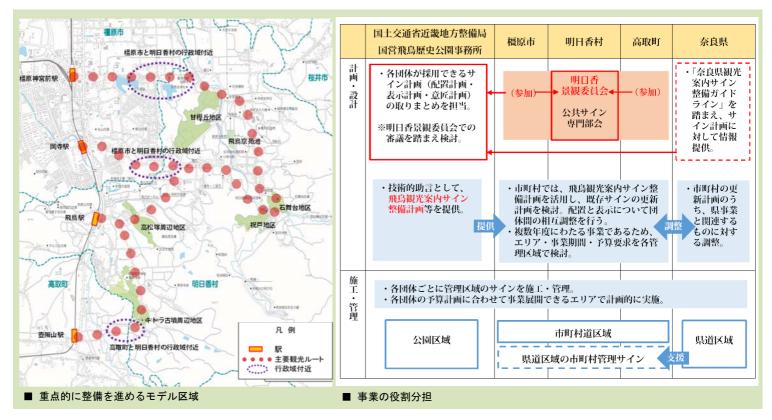
1. 事業の目的

- <u>今井町・橿原神宮・藤原宮跡・大和三山、飛鳥京跡・国営飛鳥歴史公園、</u> 土佐街道・高取城跡などの飛鳥地方が有する数多くの歴史遺産を巡るために <u>は、観光案内サインの設置が欠かせない</u>ものであり、これまでにも、橿原市、 高取町、明日香村、奈良県、国営飛鳥歴史公園事務所などの各団体によって、 その取り組みが進められてきました。
- これまでは、各団体が個別で行っていたサイン設置について、今般、より 一層の広域観光の周遊支援のため、<u>各団体が連携した協働事業として、飛鳥</u> らしい新たな飛鳥観光案内サイン(※)を設置することとなりました。

(※) 本整備計画では、歩行者サインを対象として取り組みます。

2. 段階的な事業の進め方と役割分担

- 現在、飛鳥地方には、既に数百基のサインが設置されており、<u>老朽化が著しいサインが多数あること、配置や表示、意匠計画に統一性がないこと、現在の観光動線と合致していないことなどの課題</u>があります。また、これら全てを短期間で更新していくことは、予算、期間、ストックの適正管理の観点から現実的ではありません。
- そのため、重点的に整備を進める<u>モデル区域を設定</u>した上で、国営飛鳥歴 史公園キトラ古墳周辺地区が開園する平成28年度を目指し、<u>各団体の役割</u> 分担を確認し合いながら、段階的に事業を進めていきます。
- 新たなサインの新規設置とともに、既存ストックの有効活用のため、<u>躯体が健全なサインについては、盤面のみの改修とし、色調や文字の規格だけは統一する等の工夫も行います</u>。

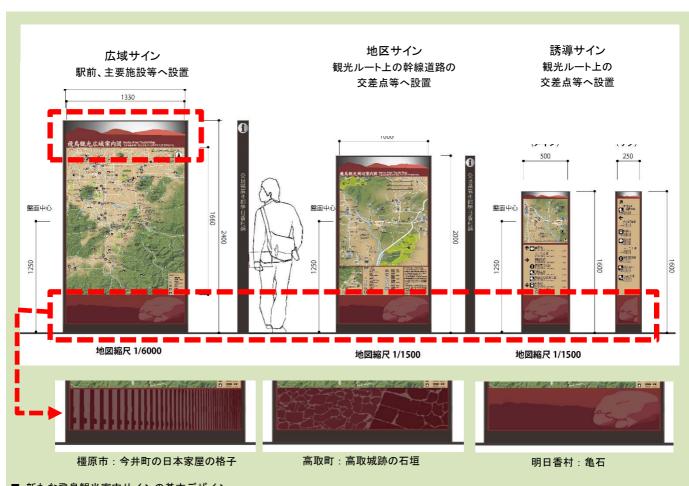


3. 飛鳥らしい新たな観光案内サイン

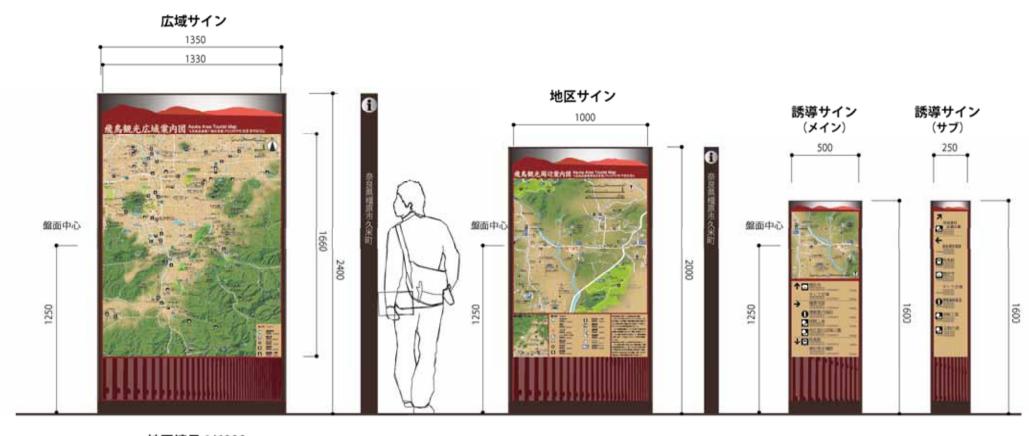
- 来訪される多くの方々が、効率的に飛鳥地方を周遊していただくため、各団体によって整備されるサインが、一定の統一性を保てるよう、「奈良県観光案内サイン整備ガイドライン」の内容も踏まえ、配置、表示、意匠についての基本的考え方を示した「飛鳥観光案内サイン整備計画 ~飛鳥地方における広域観光の周遊支援に向けて~」をとりまとめました。
- 整備計画は、<u>国営飛鳥歴史公園事務所が検討のとりまとめを行い、それに対して橿原市、高取町、明日香村、奈良県が協力する体制を取りながら、明</u>日香景観委員会公共サイン専門部会での議論を通して決定しました。
- 特に、意匠計画については、飛鳥地方の歴史資源からデザインモチーフを抽出するとともに、コストを抑えつつシンプルな形状とした<u>飛鳥らしい新たな</u>観光案内サインの基本デザインをつくりあげました。
- また、増加している外国人観光客にもご利用いただけるように、「観光立国 実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」の内容を踏ま え、英語・中国語・韓国語の多言語表記も行っています。

4. 今後の事業展開

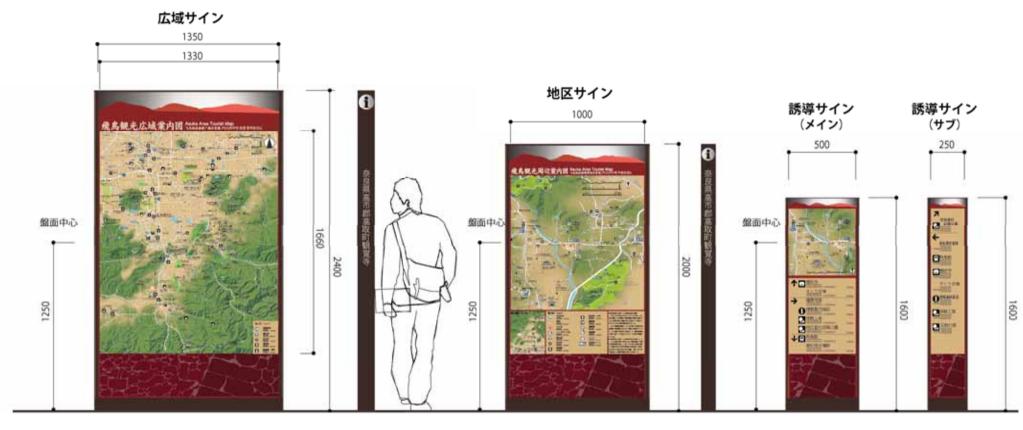
○ 各団体では、<u>平成27年度より、飛鳥観光案内サインの整備に着手</u>していきます。これまで蓄積してきた行政間の連携をより一層深めるとともに、飛鳥地方の広域観光の周遊支援に向けた様々な取り組みを行っていきます。



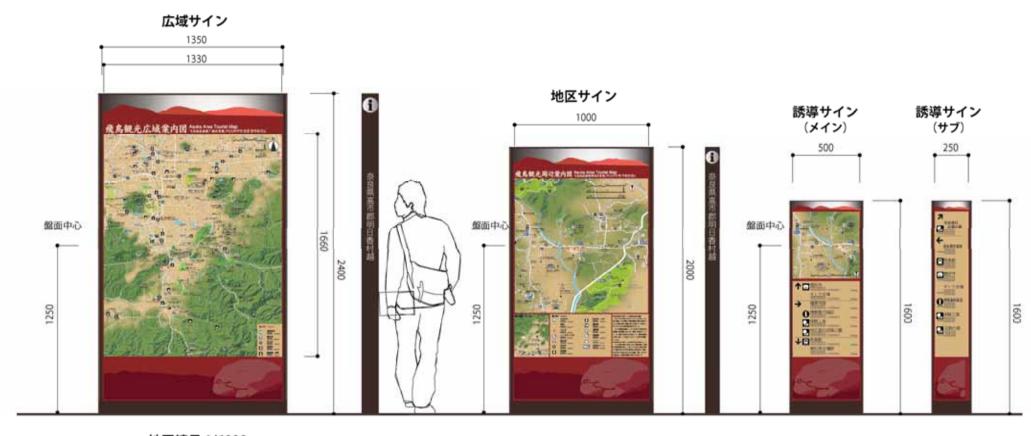
■ 新たな飛鳥観光案内サインの基本デザイン 上段には、3市町村共通の大和三山をデザインモチーフに活用。下段に、各市町村域をイメージするデザインモチーフを活用。



地図縮尺 1/6000 地図縮尺 1/1500 地図縮尺 1/1500



地図縮尺 1/6000 地図縮尺 1/1500 地図縮尺 1/1500



地図縮尺 1/6000 地図縮尺 1/1500 地図縮尺 1/1500

裏面の活用

車道からサイン背面が目視可能な場合に、下図に示すように背面の活用を行う。

